

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 胸腔排液用装置 10817000

エバキューエース

再使用禁止

【警告】
使用方法

1. 本品は転倒させないように使用すること。[水封部の水が移動して外気が胸腔に逆流し、肺虚脱や逆行性感染の危険性がある。また、排液や吸引圧調節部の水が水封部に移行し適切な胸腔圧の維持管理が行えなくなる可能性があるため、緊張性気胸症例等の治療時には特に厳重に管理すること。]

適用対象（患者）

1. 本品は天然ゴムを使用している。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を施すこと。

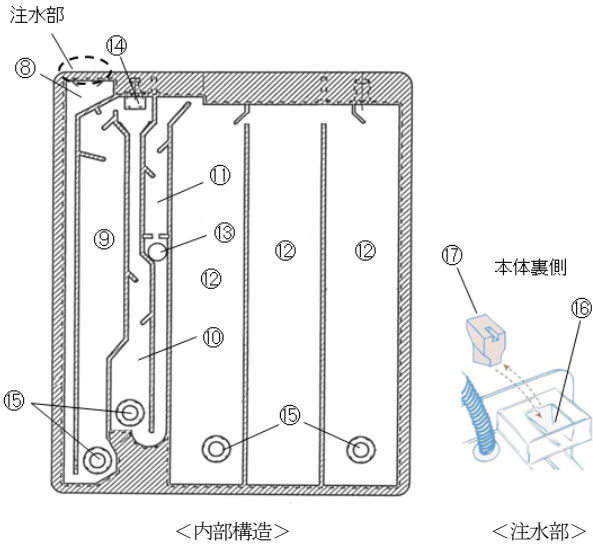
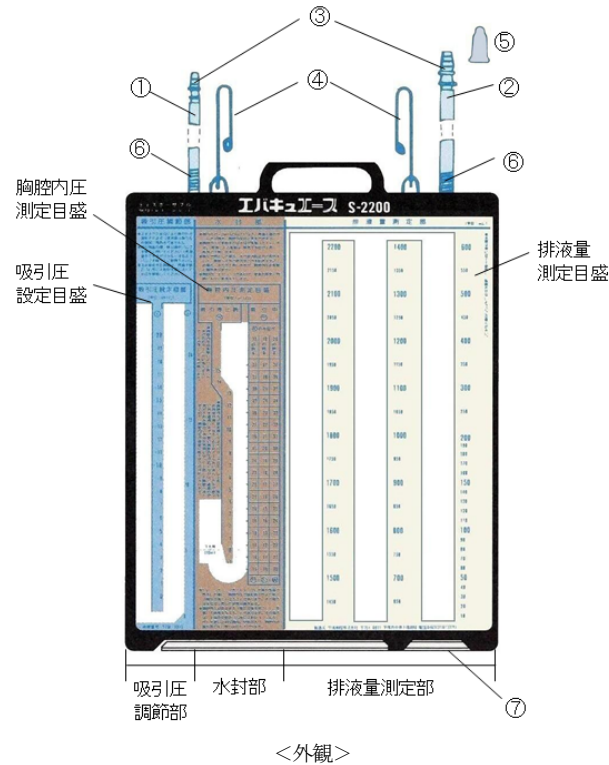
【禁忌・禁止】
使用方法

1. 本品は滅菌済み製品であり、1 回限りの使用であるので再使用しないこと。

2. 本品は本品の目的用途以外には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 構造
- 本品は、胸腔ドレナージの 3 連ボトル法の機能を一体化したもので、滅菌済みの単回使用製品である。
2. 各部の名称
- 本品の例) S-2200



<各部の名称>	
①	*サクションチューブ（吸引側チューブ）
②	*ペーシエントチューブ（患者側チューブ）
③	ホースコネクター
④	ハンガー
⑤	ホースコネクターキャップ
⑥	*チューブ保護カバー
⑦	回転スタンド
⑧	サクションコントロールチャンバー（スモールアーム）
⑨	サクションコントロールチャンバー（ラージアーム）
⑩	ウォーターシールチャンバー（ラージアーム）
⑪	ウォーターシールチャンバー（スモールアーム）
⑫	排液貯留チャンバー
⑬	高陰圧バルブ
⑭	陽圧放出バルブ
⑮	ラバーグロメット
⑯	注水口
⑰	マフラー

3. 種類			
型番	チューブの材質	排液貯留量 (ml)	ペーシエントチューブ本数
S-2200	*ポリ塩化ビニル	2200	1
S-2200R	天然ゴム	2200	1
W-2000	*ポリ塩化ビニル	2000	2
W-2000R	天然ゴム	2000	2

【使用目的又は効果】
吸引チューブに接続された 1 つ又は 2 つのチャンバからなるプラスチック装置をいう。胸腔ドレーンに接続し、胸腔から血液、空気、膿状分泌物を除去するために用いる。

取扱説明書を必ずご参照ください

【使用方法等】

- ①本品の仕様に際して、以下のものを用意する。
吸引装置、滅菌水、シリンジ、ビーカーまたはメスシリンダー、注射針（21G 又はそれより細いもの）、チューブ鉗子
- ②本品を滅菌袋から取り出し、破損、汚れなどの異常がないことを確認する。
- ③本品を患者の胸部よりも低い位置に、本品が垂直になるように設置する。設置の際は、回転スタンドまたは、ハンガーを使用し、不安定な場合は適切な固定を施すこと。回転スタンドは 90 度回転させ使用する。
- ④サクションチューブの先端のホースコネクターからシリンジを用いて、滅菌水（20ml）を水封部に注入する。
- ⑤注水口に挿入してあるマフラーをはずして、吸引圧調節部にビーカーもしくはメスシリンダーを用いて、設定する吸引圧に必要な量の滅菌水を注入する。

<注水量>

設定吸引圧(cmH ₂ O)	5	10	15	20
注水量(ml)	50	90	150	220

- ⑥吸引圧調節部に注水後、マフラーを注水口に装着する。
- ⑦サクションチューブのホースコネクターを吸引源に接続する。
- ⑧気密性の確認を行うため患者のドレーンチューブと接続する前に、ペーシエントチューブをクランプして閉塞させ、しばらく吸引して停止した際、水封部の水位が設定した吸引圧の目盛で保たれているか確認する。万一、水位が下がるようであれば、何らかのエアリークが発生している。
- ⑨ペーシエントチューブのクランプを外し、ページェントチューブのホースコネクターに装着されているキャップを外し、患者のドレーンチューブと接続する。接続の際、ホースコネクターの先端が不潔にならないように注意する。また、ペーシエントチューブが本体より垂れ下がらないように配置する。
- ⑩吸引を開始する。吸引装置の操作方法是当該装置の説明書に従って操作する。
- ⑪吸引圧調節部の水中に連続的な気泡の発生が持続する状態に吸引装置の吸引流量を調節する。気泡の発生量は吸引圧の強弱とは無関係なので、気泡の発生量を抑えること。
- ⑫使用中は、排液量、胸腔内圧、吸引圧を本体に示されているそれぞれの目盛で適宜確認すること。
- ⑬使用中に、水封部から患者の呼吸にあわせて気泡が発生する場合は、患者の胸腔内のエアリークが考えられるので、適切な処置を施すこと。また連続的な気泡が発生する場合は本品からのエアリークが考えられるため、新品と交換すること。
- ⑭使用中に、水封部または吸引圧調節部の水量が蒸発などにより減少した場合は、それぞれの裏面にあるラバーグロメットの中央部分に注射器を穿刺し滅菌水の注入を行うことで初期設定の水量に調整することができる。その際、必ず吸引を停止しペーシエントチューブをクランプして閉塞させ注入を行うこと。
- ⑮検体を目的として排液の採取をする場合は、排液貯留チャンバーの裏面にあるラバーグロメットの中央部分に注射器を穿刺し排液の採取を行う。
- ⑯吸引停止後、W-2000、W-2200R は、片方のドレーンチューブを抜管する場合は、もう一方のペーシエントチューブをクランプする。

【使用上の注意】

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

患者もしくは医療従事者の使用によりラテックスアレルギーを呈する可能性がある。

重要な基本的注意

1. 本品は、適切な医療技術の訓練を受けた医師または医療従事者のみが使用すること。
2. 本品は、滅菌済み単回使用製品であり、1 回限りの使用で使い捨て、再使用しないこと。
3. 本品は使用期限内であっても包装の破損したもの、開封済みのもの又は水濡れしたものは使用しないこと。
4. 包装を開封したら、速やかに使用すること。医療目的以外には使用しないこと。

5. 使用前に、ページェントチューブのホースコネクターが患者側のドレーンチューブに確実に接続できるか確認すること。また、サクションチューブのホースコネクターが吸引源側に確実に接続できるか確認すること。
6. 本品に備え付けられているチューブ、ラバーグロメットを取り外さないこと。
7. 本品を患者の胸部から低い位置で垂直になるように設置し、偶発的な転倒を防止するように適切な固定を施すこと。
8. チューブは折り曲がらないようにすること。またペーシエントチューブが本体より垂れ下がると、チューブ内に排液が貯まり、設定された吸引圧が得られなくなる。
9. 使用中、ペーシエントチューブ内の排液が固化し閉塞されないか確認すること。
10. 排液が本品の貯留容量に達したら速やかに新品と交換すること。
11. ラバーグロメットに注射器を穿刺する場合、21G より太い針を使用すると穿刺跡から気密が保たれなくなる恐れがある。
12. 使用後は器内の排液等が流出しないように、内容物が何であるか明記された容器にて医療用廃棄物として適切な処理をすること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

1. 高温、多湿、直射日光及び水ぬれを避けて、室温で保管すること。
2. 包装材に傷をつけたり、ピンホールを生じさせないように取り扱うこと。
3. 製品は改良されることがあるので、先入れ先出しを励行すること。
4. 製品に記載してある使用期限を確認し、使用期限を過ぎたものは廃棄すること。
5. 開封後、使用しなかったものは廃棄すること。

有効期間

適切な貯蔵方法で保管する時、使用期限は製造日より 3 年

*[自己認証（自社データ）による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

 株式会社 秋山製作所

電話番号 03-3811-0802

製造元：SM Eng.Co.,Ltd.

大韓民国

取扱説明書を必ずご参照ください